

広報

もりや

6

2017 No.636

P2 特集① ようこそ守谷へ
守谷流のお・も・て・な・し



ようこそ
守谷
2017
Welcome to Moriya



P12 特集②
田んぼが教えてくれるもの

ようこそ守谷へ 守谷流のお・も・て・な・し

5月27日に常総運動公園総合体育館で行われた「ようこそ守谷へ2017」。新しく守谷市民となった皆さんを、先輩市民がもてなす少し珍しいイベントです。守谷という場所を通じて、人と人との新たな交流が生まれたイベントの様子をお伝えします。



▲スタッフも準備に熱が入る



▲受付も、もちろん先輩市民



▲ brassバンドが大歓迎

先輩市民がお出迎え

体育館の入口に設置されたアーチを抜けると、そこにはお揃いの帽子を被った先輩市民が拍手でお出迎え。「ようこそ守谷へ2017」は、こうして始まりました。

今回で21回目となったこのイベントには、平成28年度に守谷市に転入してきた107世帯262人が参加しました。

受付では、住んでいる地区などをカードに記入し、それを名札代わりに、首からぶら下げます。これを引きかけに会話が生まれ、友達ができたという参加者も多かったようです。

brassバンドの演奏も

主催者である「ようこそ守谷へ2017実行委員会」と市長からの挨拶が終ると、市内のbrassバンド「ウインドアンサンブル守谷」による演奏が始まり、会場には、さらに歓迎ムードが漂いました。参加者は、用意されたお菓子や飲み物をいただきながら、音楽を楽しんでいました。



▼ (左) おもちゃも用意 (右) 会話も弾んでいます



▲ (左) 笑顔がたくさん (右) フェイスペイントも!

昨年は転入者として、今年の実行委員として
 参加した久保田さん



東京へ通勤しながらの準備作業は大変でしたが、自分の意見も取り入れてもらい、達成感がありました。参加された皆さん、守谷は緑と同様に人間性も豊かな方が多い、魅力的なまちです。末永く、住み続けてください!!

子どもだって楽しめる

家族連れでの参加が多いこのイベントでは、子どもが楽しめる仕掛けもあります。この日は、積み木やおりがみ、フェイスペイント、パソコンのプログラミング教室、ザリガニ釣りまで、もはや体育館の中とは思えない充実ぶりでした。

会話の機会を増やす

今回は、参加者同士がなるべく多く話せるよう、住んでいる地域ごとに簡単なワークショップを行っていました。そのせいもあってか、イベント終了後にも、テーブルでおしゃべりを楽しむ参加者を多く見かけました。

守谷の情報がたくさん

会場内には、市内で活動するサークルや団体がブースを出展していました。どのブースも参加者を楽しませようと趣向を凝らしていて、スタッフは、参加者との東の間の交流を楽しんでいました。

また、昔の守谷の写真など、守谷に関するさまざま

主役は「市民」

「ようこそ守谷へ」のごいところは、先輩市民からなる実行委員会によって運営されているところ。行政も一緒に携わりますが、主役はあくまで「市民」。

おもてなしを受ける側も、おもてなしをする側も、同じ守谷市民だからこそ生まれる出会いがあります。それがこのイベントの大きな魅力になっています。今年も、どんな人が守谷にやってきて、どんな出会いが生まれるのか? 次の「ようこそ守谷へ」が楽しみです。



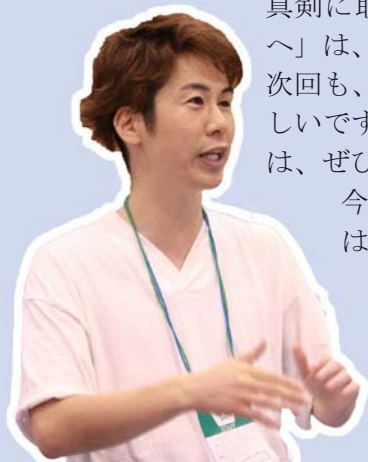
▲ いい出会いがありましたか?

実行委員長のお話をお聞きしました

今回は、市民同士の会話をなるべく多くしたいと思っていました。新しい試みとしてワークショップを行い、守谷について話し合ってもらいました。その結果、参加者同士が話している時間は、今まで一番多かったです。「友だちづくり」がねらいだったので、それが達成できたと思いますし、すごく嬉しかったですね。

このイベントは、実行委員にとっても、地域とつながるいい機会になりますし、皆さん、楽しみながら、真剣に取り組んでいます。「ようこそ守谷へ」は、マンパワーも必要なイベントです。次回も、多くの方にご協力いただけたら嬉しいです。特に新しく守谷にきた方たちには、ぜひ参加してほしいですね。

今回おもてなしを受けた方が、次回はおもてなしする側にまわる。そんなふうに、このイベントが続いていくといいですね。



参加者にも感想をお聞きしました

栃木から引っ越してきました。守谷市は、住みやすいまちだなと感じています。今日のイベントも、とても楽しかったです。友人に「こういうイベントが守谷にはあるんだよ」と話したところ、「え、それ、すごい!」と言われました。皆さんに歓迎されているという感じがすごく伝わってきましたね。いろいろな人とお話ができたし、友だちもできて、いいイベントだと思います。

つげさか 告坂さんファミリー

